

## 1. -3. 内科3

(①循環器、②腎臓)

### ②腎臓

#### 1. GIO(一般目標)

腎炎ネフローゼの診療及び腎不全診療を理解・実践するため、それぞれの専門的知識の習得及び、腎疾患をきたす全身性疾患の評価と治療を行えることを目標とする。

#### 2. SBOs(行動目標)、4. Ev(評価)

行動目標(SBOs)				研修方法	評価方法(EV)
身体的診察法					
全身の観察、身体所見の記載及び評価が行える。				実習	カルテ評価
基本的な臨床検査					
一般尿検査(沈渣も含む)	実習	口頭試問	動脈血ガス分析	実習	口頭試問
末梢血検査	実習	口頭試問	血液生化学検査	実習	口頭試問
免疫学的検査	実習	口頭試問	内分泌・代謝学的検査	実習	口頭試問
腹部エコー	実習	口頭試問	腎生検	見学	口頭試問
基本的手技					
内シヤント作成	見学	口頭試問	内シヤント造影・PTA	見学	口頭試問
透析用カテテルの留置	見学	口頭試問			
基本的治療法					
療養指導(生活指導・食事療法)ができる。				実習	カルテ評価
薬物療法について、作用及び副作用を理解し、それぞれの薬剤を的確に使用できる。				実習	口頭試問
腎不全治療(血液透析、CAPD、腎移植)について、利点と欠点を理解し、適応を述べるができる。				実習	口頭試問
透析機器のプライミングができる。				実習	観察
頻度緊急度の高い症状					
血尿				担当医として実習	口頭試問
蛋白尿				担当医として実習	口頭試問
浮腫				担当医として実習	口頭試問
尿量の評価				担当医として実習	口頭試問
電解質評価				担当医として実習	口頭試問
経験すべき疾患					
原発性糸球体疾患(急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群)				担当医として実習	口頭試問
糖尿病性腎症				担当医として実習	口頭試問
高血圧症に伴う腎硬化症				担当医として実習	口頭試問
慢性腎臓病のstage分類とそれぞれの病期の病態				担当医として実習	口頭試問
腎不全(急性腎不全、慢性腎不全など)				担当医として実習	口頭試問
腎不全に伴う代謝異常(腎性貧血、骨ミネラル代謝異常)				担当医として実習	口頭試問

### 3. LS(方略)

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	モニグ カンファレンス	モニグ カンファレンス	モニグ カンファレンス	モニグ カンファレンス	モニグ カンファレンス	WEC
9:00-9:30	今週の研修 目標の確認	本日の研修 内容の確認	本日の研修 内容の確認	本日の研修 内容の確認	本日の研修 確認	TEC/本日の 研修確認
9:30-12:00	腎生検	透析実習	外来実習(医 療面接)含む	外来実習(医 療面接)含む	病棟実習	TEC/病棟実 習
昼休み						
13:00-16:30	外来実習	部長回診	病棟実習	アキオシヤント造 影PTA等 (~17:00)	病棟実習	

講義は①腎臓の解剖生理、②腎不全における貧血、ミネラル代謝、③腎生検標本の見方などを予定している。

#### 4. Ev (評価)

腎臓内科部門での臨床研修で、医師として基本的に要求される各種腎疾患に対応できる知識や技術が習得できているかどうかは、指導医と定期的に行うカンファレンスでの検討や個別の面談などで行う。研修医は日々の診療を外来、病棟で行うわけであるが、直接指導にあたった腎臓内科指導医が研修医の診療態度や診療能力を評価する。

#### 5. その他

腎臓内科の特徴として、腎臓が機能している患者から腎臓が機能していない患者を対象としていることがあげられる。腎臓の機能がほとんどない患者については細かい全身管理を必要とし、腎臓だけでなく腎臓から全身を診るといった姿勢で粘り強い取り組みが必要です。

#### 6. 必修として研修後、再度研修する場合

研修医は、腎臓内科指導医の下ではあるが、外来初診患者に対して、入院治療の必要性を判断し、入院診療計画を作成し、自主的に治療が行える能力を養う。腎臓内科病棟、HCU、ICU では指導医の管理下で腎不全に基づく電解質・体液管理や急性血液浄化療法などの緊急治療にも対応できるよう必要な手技を理解し、実践出来る能力を習得する。